

様式見本・記載要領

【書類名】	特許料納付書（設定補充）
【提出日】	平成24年4月1日
【あて先】	特許庁長官殿
【出願番号】	特願2012-499999
【請求項の数】	1
【特許出願人】	
【氏名又は名称】	特許 株式会社
【納付者】	
【識別番号】	300000001
【住所又は居所】	東京都千代田区霞が関3丁目3番3号
【氏名又は名称】	特許 二郎
【納付年分】	第1年分から第3年分
【提出物件の目録】	
【物件名】	持分を証明する書面 1

記載要領

以下の場合に使用する。

- ・ 設定登録時の特許料納付書に係る証明物件の提出

1. 様式

- (1) 用紙は、日本工業規格A列4番（横21cm、縦29.7cm）の大きさとし、インキがにじまず、文字が透き通らないものを縦長にして用い、用紙には不要な文字、記号、枠線、けい線等を記載してはならない。
- (2) 余白は、少なくとも用紙の上に6cm、左右及び下に各々2cmをとるものとし、原則としてその左右については各々2.3cmを超えないものとする。
- (3) 書き方は左横書、1行は40字詰めとし、1ページは50行以内とする。
- (4) 文字は、10ポイントから12ポイントまでの大きさで、タイプ印書等により、黒色で、明りょうにかつ容易に消すことができないように書く。また、半角文字並びに「【」、「】」、「▲」及び「▼」を用いてはならない。（欄名の前後に「【」及び「】」を用いるときを除く。）
- (5) 提出書が複数枚にわたるときは、各ページの上の余白部分の右端にページ数をなるべく記入する。
- (6) 各用紙においては、原則として抹消、訂正、重ね書き及び行間挿入を行ってはならない。

2. 【提出日】について

なるべく提出する日を記載する。

3. 【出願番号】について

「特願○○○○-○○○○○○」のように出願の番号を記載する。

4. 【請求項の数】について

特許査定となった特許請求の範囲の請求項の数を記載する。

5. 【特許出願人】について

【特許出願人】の欄に記載すべき者が2人以上あるときは、次のように欄を繰り返し設けて記載する。

<記載例>

【特許出願人】

【氏名又は名称】 特許 株式会社

【特許出願人】

【氏名又は名称】 発明 二郎

6. 【納付者】について

(1) 【住所又は居所】は、何県、何郡、何村、大字何、字何、何番地、何号のように詳しく記載する。ただし、【識別番号】を記載したときは【住所又は居所】の欄は設けるには及ばない。

(2) 【氏名又は名称】は、自然人にあつては、氏名を記載し、法人にあつては、名称を記載し、【氏名又は名称】の次に【代表者】の欄を設けてその代表者の氏名を記載する。

(3) 日本に営業所を有する外国法人にあつて、日本における代表者が手続を行うときは、【氏名又は名称】の次に【日本における営業所】の欄を設けて、営業所の所在地を記載し、その次に【代表者】の欄を設けるものとする。

(4) 【納付者】の欄に記載すべき者が2人以上あるときは、次のように欄を繰り返し設けて記載する。

<記載例>

【納付者】

【識別番号】 3 0 0 0 0 0 0 0 1

【住所又は居所】 東京都千代田区霞が関3丁目4番3号

【氏名又は名称】 特許 株式会社

【代表者】 特許 太郎

【納付者】

【識別番号】 3 0 0 0 0 0 0 0 2

【住所又は居所】 東京都千代田区霞が関3丁目3番3号

【氏名又は名称】 発明 二郎

7. 【納付年分】について

「第1年分から第〇年分」までのように記載する。

8. 【提出物件の目録】について

物件名には補足する証明書等の物件名を記載する。

9. 証明物件の添付について

とじ方は左とじとし、容易に分離し、とじ直すことができるように例えばホッチキス等を用いてとじる。